



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS

《母島》

みんなが「らしく」暮らせる、母なる島



島内外に母島のファンを増やすため、島外の視点も取り入れながら
母島の現在・未来について継続的に語り合う「場」づくり



《母島》 取組概要

— 人間らしい暮らしの本質を求めている人々を迎えたい—

島内外に「母島のファン」を増やす

「母島部活堂」の実践

- ・ 母島の過去、現在、未来を知り、考え、動く
- ・ 立場や職場、年齢を超えた人が集まり、母島の良さや課題を見つめ直し、語り合う「場」

外からの視点

他人事から自分事へ

場活堂のノウハウ





《母島》これまでの取組経過

毎月
開催

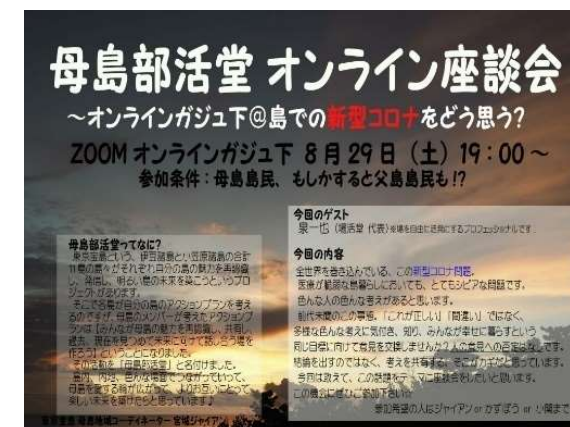
オンライン座談会

- ・母島の課題解決を見据えた具体的なテーマ設定
- ・時事的なテーマの座談会：
「新型コロナ」（8月、10月）、「クリスマスイベント」（11月）
- ・伊豆・小笠原各島の状況を共有するための座談会（9月）

8月

母島遊び

- ・子ども達に母島らしい遊びを体験してもらい復活させていくための取り組み
- ・オンライン座談会で「母島らしい遊びが消えつつある」という危機感を参加者で共有、自然発生的に生まれた成果
- ・8月にタコ捕り体験を試行的に実施





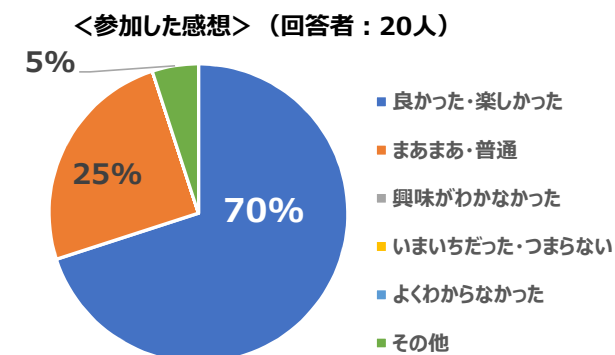
《母島》 これまでの取組経過・今後の予定

11月～

取組の強化

- ・これまでの座談会参加者へ、参加した感想などを聴取
- ・母島部活堂のねらい、座談会の意義の整理
- ・運営メンバーの役割分担の見直し、等を議論

運営メンバーの一体感が強まる！



～3月

情報発信と参加者の巻き込みを強化

- ・母島部活堂のHP開設（1月29日オープン）
- ・「母島部活堂新聞」発行（初号は2月中に発行予定）

運営メンバーの活発な議論！



《母島》今後の予定

より開かれた座談会の開催による母島部活堂のコンテンツ化

◎ 島の人たちが参加しやすい環境づくり

- ・オンライン座談会と小規模で対面の会議の開催
- ・「母島遊び」などのイベント開催、など

◎ 定期的な「母島部活堂新聞」の発行によるPR

- ・毎月の座談会の記録と振り返りによる取組の深化
- ・年4回程度の発行を予定

◎ 島外の母島ファンとのつながりづくり

- ・FB、HP等での情報発信
- ・毎月の座談会に加え、オンライン上での意見交換も実施

